

# 三浦市議会だより

## 第3回定例会

# 基本条例策定等特別委が始動

## 城ヶ島大橋渡橋料の無料化を求める意見書を可決



観光地城ヶ島で白熱のタスキリレー 幅広い層に人気の城ヶ島駅伝は11月13日(日)開催!

### 定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
9月8日	木	本会議	会期の決定、一般質問
9日	金	本会議	一般質問
12日	月	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)、決算審査特別委員会の設置
13日	火	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
14日	水	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
16日	金	決算審査特別委員会	議案の審査
20日	火		
21日	水		
22日	木		
26日	月	議会基本条例策定等特別委員会	議会基本条例策定等に関する審査
27日	火		
30日	金	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の各委員長報告・討論・採決)、意見書案、人事案件(教育委員会委員・公平委員会委員)、議員派遣について、報告

平成二十三年第三回定例会は、九月八日から三十日までの二十三日間を会期として開かれました。今定例会では、平成二十二年度各会計決算を初めとする十四議案が提出され、それぞれ審議しました。また、議会基本条例策定等特別委員会が審査をスタートしました。(記事三面)

#### 〈議会だより第105号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
決算審査特別委員会	1～2面
常任委員会の審査	2面
陳情	2面
議会基本条例策定等特別委員会	3面
一般質問	3～6面
可決した意見書	7面
議会の活動から	7面
本会議における討論	8面
議案等の審議結果	8面
人事	8面
議会を傍聴しませんか	8面

## 決算審査特別委員会

### 議案の審査概要

平成二十二年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道)及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、六人の委員で構成する決算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

### 決算審査特別委員会

- 委員長 出口眞琴  
 副委員長 立本眞須美  
 委員 寺田一樹  
 藤田昇  
 草間道治  
 石原正宣

### 総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

#### 市の財政運営

**質問** 緊急緊縮財政宣言を公表し、支出の削減等に取り組みながら迎えた二十二年度決算に対する市長の感想は。  
**答弁** 二十二年度決算は、第三セクター等改革推進債により大きな数字になった。緊急緊縮財政宣言を踏まえ、当初予算から経常経費の一〇%削減を行うなど厳しい編成をした結果、何とか数値がまとまった。

**質問** 市立病院の経営改善

改革の成果に対する市長の見解は。  
**答弁** 総病院長のもと経営改善を進め、数字の上では結果が出ていますが、医療収益の増による結果ではなく満足はしていない。これからも一層の取り組みを期待したい。

**二町谷埋立地**  
**質問** 土地開発公社解散に伴う債務の償還や、二町谷埋立地の売却について、市長の考えは。  
**答弁** 土地の活用に取り組みることが財政再建につながると思っっている。土地の売却価格は、市の財産として公正な評価に基づいたものになりたい。

(その他の質疑項目)  
 ・市税徴収率向上のための取り組みについて  
 ・人件費及び職員数の削減について  
 ・小児医療費助成制度の対象について  
 ・交付金を活用して行った施策の効果について、ほか

# 一般会計

歳入

- ・市税納付における口座振替の利用状況について
- ・不動産売り払い収入の内容について
- ・ふるさと納税の状況について

歳出

- 総務費
  - ・元三崎高校の施設管理と跡地の利活用方針について
  - ・税外未収金の徴収について

意見

県補助金による事業で、予算を執行し切れずに翌年度の予算が減額となっている事例がある。庁内や関係団体と連携し、補助金を活用してほしい。

●民生費

- ・障害者支援に係る給付と支援ファイルの作成について
- ・生活保護受給者の傾向について

●衛生費

- ・ごみの不法投棄の現状と対策について
- ・女性特有のがん検診の受診者数について
- ・健康教育事業での取り組みについて

●農林水産業費

- ・環境保全対策事業による回収する廃棄物の対象について
- ・野菜残さの不法投棄について
- ・二町谷地区での汚水処

理の実績について

- 商工費
  - ・二町谷埋立地への企業誘致活動について
  - ・食育計画の推進と計画の見直しについて

意見

教育旅行誘致は、二十二年度は百五十校が三浦市を来訪するなど、成果が上がっている。今後さらなるPRをお願いしたい。

●土木費

- ・幹線道路整備のための取り組みについて
- ・応急危険度判定士の養成について
- ・景観計画の策定について

●消防費

- ・定数を削減した後の消防団の体制について
- ・東日本大震災の被災地への職員派遣について

●教育費

- ・相談指導教室等での教育相談について
- ・給食費の滞納状況と今後の徴収について
- ・就学援助の認定状況と制度拡充について

## 特別会計

●国民健康保険事業

- ・保険税の不納欠損額の内訳について
- ・税率改定による影響について

意見

特定健診の受診率が伸びていないので、保健衛生委員などと連携し、繰り返し受診の呼びかけをしてほしい。

老人保健医療事業

- ・(質疑は特にありませんでした)
- 後期高齢者医療事業
  - ・神奈川県平均保険料について
  - ・保険料の軽減措置を受けている被保険者の割合について

意見

介護認定の審査状況について

●土庫費

- ・介護予防事業の成果について
- ・保険料の収納状況及び未納の割合について

●市場事業

- ・水揚げ量と入港船の推移について
- ・貸し事務室及び食堂の利用状況について
- ・二十二年三月の火災で焼損した超低温魚市場冷蔵庫の現況について

●公共下水道事業

- ・都市計画税の充当内訳について
- ・東部浄化センター用地での施設整備の予定について

## 企業会計

●病院事業

- ・地域医療科の体制整備と在宅診療について
- ・医師、看護師の確保について
- ・脳ドックの受診件数と実施の効果について
- ・支出抑制策及び収入増加策について

●水道事業

- ・老朽管更新事業の進捗

状況について

- ・災害用の飲料水の確保について
- ・平成十三年以来の純損失が生じた要因について

意見

質疑終了後、各会計決算について、討論が行われました。

●一般会計

- 立本眞須美副委員長より、起債により土地開発公社を解散したこと、今後、長期の返済が続くが、保有する土地の売却、活用が進んでいないこと等が反対の理由として述べられました。

●石原正宣委員より、市

税収入の減少中、歳出削減を図り土地開発公社解散の費用を捻出したこと、市民サービスの低下が極力ないよう事業実施をした行政努力などが賛成の理由として述べられました。

●国民健康保険事業

- 立本眞須美副委員長より、国保税において市民負担が六千五百万円ふえたこと、特定検診の受診率が目標値に及ばなかったことが反対の理由として述べられました。

●後期高齢者医療事業

- 立本眞須美副委員長より、後期高齢者医療制度は、七十五歳という年齢で保険制度が区分けされ、医療差別が行われるものであることが反対の理由として述べられました。

# 常任委員会

## 議案の審査概要

## 総務経済

●三浦市土地開発基金条例を廃止する条例

(質疑の主な項目)

- ・土地開発基金が保有する土地のうち、文化財用地の管理委託をする期間と、受託期間の延長手続について
- (委員からの意見)
- ・受託期間の延長は口頭による合意で行われているが、契約にかかわることなので、文書の取り交わしにより行うべきである。

## 都市厚生

◎平成二十三年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第一号)

(質疑の主な項目)

- ・償還金として計上されている内容について
- ・介護保険料と国民健康保険料の確定時期の違いについて
- (委員からの意見)
- ・特定高齢者の生活機能評価は、前年度の受診者が少なかったために、今年度は受診者数の見込みを減らして予算計上をしている。今後は、対象者に受診を呼びかけるなど、実のある取り組みをしてほしい。

課後児童クラブの移転について

(委員からの意見)

- ・土地開発基金の廃止に伴う繰入金計上されているため、本議案には賛成できない。

## 常任委員会での陳情の審査結果

9月定例会では5件の陳情を審査し、結果は次のとおりとなりました。現在、継続審査中の陳情はありません。

所管委員会	件名	結果
総務経済	地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情書	了承できるもの
	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出についての陳情書	
	城ヶ島大橋渡橋料無料化について陳情	
	神奈川県最低賃金改定等についての陳情	審議未了
都市厚生	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る陳情書	了承できるもの

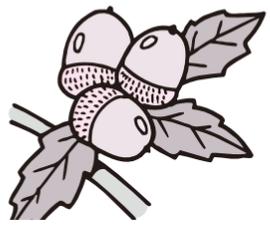
## 新たに提出された陳情

- ◎地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情書
- ◎城ヶ島大橋渡橋料無料化について陳情

趣旨 本陳情は、地方消費者行政の充実に向け、財政措置など国の支援を求める意見書の提出を求めています。

◎三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担

趣旨 本陳情は、少人数学級の実現及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出を求めています。



# 議会基本条例策定等 特別委員会

第二回(六月)定例会最終日に設置された議会基本条例策定等特別委員会は、九月二十七日に第一回目の委員会を開催しました。

今回の委員会では、議会基本条例に対する各委員の考えや、条例制定までの審査期間、条例制定のために必要な研修等について、それぞれ意見交換を行っています。

主な意見は、次のとおりです。

○議会基本条例に対する考えは、議会は市民の関心を得る努力をすることが必要。市民に開かれた議会にするきつかけとしたい。

・三浦市議会の活動の十分な点、不十分な点を掘り下げた上で、条例に反映すべき。他議会で制定された基本条例のまねでは「なぜ」が抜けてしまう。

・将来的には、市民アンケートや議会報告会を行うことも検討したいが、まずは三浦市議会に合った内容を考えたい。

・条例をつくるだけでなく、執行するのも自分たち(議員)である。条例をつくった後にどうするかも重要な問題だと思ふ。

○必要な研修等について

・講師を招いて勉強をしてはどうか。

・条例を制定したばかりのところや、議会報告会を開いているところなど、各議会に温度差がある。進んだ活動をしている議会の話を聞いてはどうか。

・先進地の視察をすることも重要だが、ある程度、議論が煮詰まってからのほうがよいと思ふ。

○その他

・この委員会は、市民に開かれた議会を目指すものである。したがって、この委員会の審査についても市民に知らせていくべきではないか。

本委員会は、定例会閉会中も適宜開催していきます。興味をお持ちの方は、ぜひ傍聴にお越しください。

開催日程は、市議会ホームページを「ごらんになるか、議事事務局にお問い合わせの上、ご確認ください。

委員会の記録は、作成し次第、会議録検索システムに掲載します。

○条例制定までの審査期間は、各市町村の事例では、何年もかけていない。一定の期間内で行うためには、月に一、二回の委員会開催が必要ではないか。

## 一般質問 ~質問と答弁の要旨~

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。  
今定例会では、14人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。

### 安全・安心な学校給食

災害時要援護者、介護保険  
日本共産党 立本 眞須美

食材の産地や放射性物質に関する情報を提供するだけでなく、十分な支援をしていきたい。

状況を積極的に把握し、先進的な取り組み事例等については情報提供を行うなど、十分な支援をしていきたい。

市長 今後、国から示される詳細な内容について検討するとともに、近隣市町村と情報交換を重ねて、導入するか否かを慎重に検討したい。

【質問】福島原発の事故による放射能汚染は、非常に広範囲にわたり、さまざまな影響を与えている。幾つかの食品からは、国の暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されるなど、食材選びには敏感にならざるを得ない。安全な給食を提供する市の責任として、保護者に対し、食材の産地や放射性物質の測定値等の情報提供をすることが必要だと考えるが、いかがか。

【市長】市として、各区の状況は早急に把握して、具体的な援助をする必要があるのではないかと考えている。

【市長】三浦市では、災害時要援護者の支援体制の整備を進めている。しかし、地区によっては、具体的な取り組み方がわからず、整備が進んでいないという話も聞く。各区の状況を早急に把握して、具体的な援助をする必要があるのではないかと考えている。

【市長】三浦市では、災害時要援護者の支援体制の整備を進めている。しかし、地区によっては、具体的な取り組み方がわからず、整備が進んでいないという話も聞く。各区の状況を早急に把握して、具体的な援助をする必要があるのではないかと考えている。

【教育部長】給食に使用する

【市長】市として、各区の

【市長】三浦市では、

【市長】三浦市では、

### みうら夜市の今後

三崎下町の再整備、公衆トイレ  
フォーラムみうら 寺田 一樹

【質問】みうら夜市は、来場者や出店店舗が年々増加しており、また、夜市での下町商店街の活気を見ると、三浦の町には欠かせないものであると感じている。

【市長】三崎港周辺の再整備については、過去、さまざまな形で計画が策定されていたが、社会情勢の悪化や景気の低迷等により、実現していない。

【市長】三浦市では、

【市長】三浦市では、

【質問】三崎港周辺の再整備については、過去、さまざまな形で計画が策定されていたが、社会情勢の悪化や景気の低迷等により、実現していない。

【市長】三浦市では、

【市長】三浦市では、

【市長】三浦市では、

【市長】夜市は回数を重ねるごとに市内外での知名度が上がっており、市としても継続をしていく

【市長】三浦市では、

【市長】三浦市では、

【市長】三浦市では、



三崎港口ロータリー周辺



三崎学校給食共同調理場

### 災害時の業務継続計画

防災行政無線、市立病院

公明党 藤田 昇

**質問** 東日本大震災では、津波による大規模な被害が発生し、多くの行政機関が機能不全に陥った。緊急時における行政機能の早期復旧のため、業務継続計画（BCP）の策定は、早急に検討すべき課題である。地域防災計画にBCPを盛り込むことが必要だと考えるが、いかがか。

**行政管理局長** BCPは地域防災計画のいわば細部計画であり、災害時に市が最低限行うべき業務

**質問** 東日本大震災では、防災行政無線が唯一の情報伝達手段であった。しかし、市民からは放送内容が聞き取りにくい等の意見があると聞く。防災行政無線の難聴対策として、放送内容を電話で確認できる音声自動応答サービスの導入を提案するが、市長の考えは、

**市長** 難聴対策として、

音声自動応答サービスは非常に有効な手段だと考えられる。実施に向け、前向きに検討したい。

内医療機関との連携など、多岐にわたって業務を展開している。

市立病院では、地域完結型の医療を目指しており、地域医療科の存在は今後さらに大きくなると考えている。

**質問** 東日本大震災では、防災行政無線が唯一の情報伝達手段であった。しかし、市民からは放送内容が聞き取りにくい等の意見があると聞く。防災行政無線の難聴対策として、放送内容を電話で確認できる音声自動応答サービスの導入を提案するが、市長の考えは、

**総病院長** 現在は、内科及び眼科での訪問診療を初め、高度医療機関や市

地域の皆様と連携をしながら取り組むことが基本であると考えている。

今後の取り組みは、現在の取り組みは、



三浦市立病院

### 避難方法等の検討を

イベントの実施、三浦半島断層群

無所属 出口 正雄

**質問** 地震イコール津波という考えは、東日本大震災による貴重な教訓である。また、三浦市でも、過去に大きな津波に襲われたという記録がある。

**新規イベントの開発** 東日本大震災の発生を受け、多くの自治体

三浦市では、三浦海岸の花火大会やみうら夜市の実施など、積極果敢に打

三浦市では、三浦海岸の花火大会やみうら夜市の実施など、積極果敢に打

三浦市では、三浦海岸の花火大会やみうら夜市の実施など、積極果敢に打

市民の皆さんに強烈な記憶が残っているうちに、最善の避難方法や避難路の検討をしなければなら

**行政管理局長** 現在、沿岸に面する三十五区に対し、津波避難訓練の実施を呼びかけている。

**市長** イベントは、市と

市と

市と



三浦海岸納涼まつり花火大会

### 観光地等での避難対策

ごみ対策、スポーツ公園

みうら市政会 出口 眞琴

**質問** 三浦市は三方を海に囲まれ、神奈川県下でも有数の観光地であるが、地震による津波被害の危険性が極めて高い土地でもある。

**市長** 近年、バーベキュー等のごみの放置に苦慮している。このため、地域ボランティアと協力

**質問** 本市には多くの観光客が訪れるが、人が多く集まる場所には、ごみ問題も起きてくる。

**市長** 近年、バーベキュー等のごみの放置に苦慮している。このため、地域ボランティアと協力



開催時間を変更した「みうら夜市」

### 視覚障害者施策

教科書、自転車の安全な利用

日本共産党 石橋 むつみ

**質問** 視覚障害者には、さまざまな不自由があるが、その中でも特に深刻なのは、行政や医療機関からの通知など、文書を中心とした情報の入手に

**質問** 七月に開催された教科書の採択

**保健福祉部長** 障害福祉サービス等の手続など、文書でのやりとりが必要

**市民協働部長** 交



自転車マナーアップ大会



### 高さ制限と将来の展望

有機農法の推進  
フォーラムみうら 松原 敬司

**質問** 現在、都市計画決定による高さ制限に向けた事務が進められている。土地利用、高さ制限については、地域ごとの土地利用を明快に定め、十分に議論を尽くした上で決定すべきである。

**市長** 都市計画決定は、過去の中高層住宅建設問題

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**質問** 三浦市の農業振興策の市の税収を上げるために、有機農法は、その一つの手段である。有機農法で一番大切な

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

### 三崎下町の活性化策

節電、スポーツ施設の予約  
みうら市政会 神田 眞弓

**質問** 下町・城ヶ島活性化事業は、今年度の第三

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**質問** 下町・城ヶ島活性化事業は、今年度の第三

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**質問** 下町・城ヶ島活性化事業は、今年度の第三

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**質問** 下町・城ヶ島活性化事業は、今年度の第三

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**質問** 下町・城ヶ島活性化事業は、今年度の第三

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**質問** 下町・城ヶ島活性化事業は、今年度の第三

**市長** 三浦市においては、将来の都市像すべてがコントロールされるものではないが、自然環境と共生する魅力的な居住地等を充実させるという、都市計画マスタープランの目標の実現に寄与するものだと考えている。

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市においては、化学合成農薬や化学肥料の使用を抑制するという趣旨のもと、早くから堆肥を重視した取り組み

**市長** 三浦市議会においては、議会基本条例策定についての議論が始まる。制定されれば、基本構想で触れられなかった議会部分の成文化がされることに

**市長** 将来的に自治基本条例を制定する可能性はあるが、現時点でその必要性が大変高いという考えは特に持っていない。

**市長** 今までの例として、住民が指定の要望を上げようとしても、土地所有者や当該地に住んでいない地権者の承諾が得られ

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。

**市長** 十三人の審議会委員のうち、市議四人及び市民委員三人の計七人をもって、市民の意見を反映している。



チャッキラコ・三崎昭和館



冬に向けて大根が育つ畑



旧三崎高校

# 可決した意見書(概要)

## 漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書

昨今の漁業において、コストに占める燃油費の割合は極めて大きく、燃油価格の高騰によるコストの上昇は大きな痛手である。加えて、構造的な魚価の低迷により収入面においても厳しい状況となっており、漁業経営は深刻な状態に陥っている。

さらに、燃料として主に軽油を使用している沿岸漁業地域においては零細漁業者が多く、軽油引取税の免税措置が廃止されると、経営は一段と圧迫され、廃業にさえ追い込まれかねない。

消費者に国産水産物を安定供給し続けるためには漁業者の経営安定が必要であり、国においては軽油引取税の免税措置を継続して行うよう強く要望する。

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣

## 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書

地方公共団体が地域の実情に応じた消費者行政の強化をできるよう、国は次の措置を講じるよう強く要望する。

- 1 地方消費者行政活性化基金等の延長も視野に入れつつ、使途を消費者行政と明示した継続的かつ実効的な財政支援を行うこと。
- 2 消費生活相談窓口について一定の基準を示すとともに、都道府県と市町村が広域的に連携して相談窓口を設置する方策など、地方公共団体に利用しやすい制度枠組みを提示すること。
- 3 消費生活相談員を含め、非常勤の立場であっても、専門性に見合った待遇のもと、安定して勤務できる任用制度を整備すること。

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)

## 少人数学級の実現及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

日本はOECD諸国の中では、1学級当たりの児童・生徒数や教員1人当たりの児童・生徒数が多く、また、GDPに占める教育費の割合は最下位となっている。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子供たちへの教育は極めて重要であり、国においては平成24年度予算の編成において次の措置を講じるよう強く要望する。

- 1 OECD諸国並みの30人以下学級の早期実現に向けて、必要な措置を行うこと。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。

〈提出先〉内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

## 城ヶ島大橋の渡橋料無料化を求める意見書

城ヶ島大橋は三崎漁港の管理を目的とした漁港施設道路として開通し、神奈川県漁港管理条例に基づき渡橋料が徴収されている。

有料道路は建設費が償還されれば無料化されるものであり、県内で他の有料道路が無料開放された事例を考えると城ヶ島大橋も無料化するべき時期が来ている。

城ヶ島大橋の建設目的は漁港の管理であるが、実態は城ヶ島での生活や経済活動、観光来遊客の利用など、他地域の一般道路と同様な機能を担っている。

城ヶ島への観光来遊客誘致や経済活性化をさらに促進するため、神奈川県においては、城ヶ島大橋の渡橋料を無料化するよう強く要望する。

〈提出先〉神奈川県知事

# 議会の活動から

### ▼障害者通所施設を視察

(九月十四日)

本年四月に開設された、上宮田の障害者通所施設「三浦創生舎」の視察を行いました。

三浦市では、通所施設の設置を目指して、長年取り組んできました。その結果、昨年の十二月議会に設置費が計上された補正予算案が提出され、全会一致で可決しています。

視察では、施設内の見学を行い、その後、今後販売を開始する予定の、通所者手づくりのぎょうざを試食しました。



### ▼台風の被害状況を確認

(九月二十七日)

九月二十日から二十一日にかけて日本を縦断し、大きな被害をもたらした台風十五号による被害状況を確認するために、二町谷埋立地の視察を行いました。

現地では、担当職員から被害についての説明を

受け、強風により飛散したブロックや植栽などを見て回りました。



### ▼須坂市議会議員が来訪

(十月二十日、二十一日)

姉妹都市である長野県須坂市の議員十八人が三浦市を来訪しました。

二十日の研修会では、三浦市議会の正副議長及び各委員長が出席し、三浦市議会の活動状況などの報告を行いました。

研修後は、両市の全議員参加による懇談会を行い、意見交換をしました。翌二十一日には市内視察を行い、岩野議長、立本副議長が三崎下町などを案内しました。



## ホームページのご案内

### 会議録検索システム



◆議会基本条例策定等特別委員会に関する情報も掲載しています

三浦市議会のホームページでは、会議録の閲覧・検索のほか、会議の日程、審議結果など、議会に関する情報がごらんいただけます。  
(三浦市議会のページは、三浦市ホームページ <http://www.city.miura.kanagawa.jp/> から)



三浦市議会トップページ

# 本会議における討論

## 議案第33号 平成22年度三浦市一般会計決算の認定について

### 反対討論

日本共産党 立本眞須美

平成二十二年度は、三セク債を活用して土地開発公社の解散が行われた。このことにより、今後三十年に及ぶ返済が続くが、無謀な二町谷埋立事業と、ずさんな土地の先行取得を行ったつげが、市民に負担増などの大きな影響を与えることになる。

安心・安全な市民生活の実現を図るためには、子育て支援策を充実させる必要がある。小児医療費助成制度の対象年齢引き上げと、就学援助制度の改善を求める。また、福島第一原発の過酷事故を踏まえて、学校給食の食材を検査するため、放射性物質の測定機購入の検討を求めたい。

職員の一層の努力で、安心・安全な市民の暮らしと営業を守り、公正で民主的な市民本位の行財政運営を求める。

### 賛成討論

みうら市政会 草間 道治

平成二十二年度は、厳しい財政状況が続く中で、土地開発公社の解散、市立病院の健全化を進めなければならなかった。

このような中、市長は、収納体制の強化や財源対策検討委員会の設置による歳入増加、事業の見直しや人件費の縮減による歳出削減に取り組んだことを評価する。

三崎高校跡地の活用や企業誘致が進まないことなど、幾つかの問題もあった。特に二町谷民間売却用地の売却は、今後の三セク償還計画に与える影響が大きいため、新たな政策を考え、体制を強化して全力で企業誘致に取り組んでほしい。

決算委員会の審議内容をよく精査し、今まで以上に各課が連携して今後の行政執行にまい進することを期待する。

### 賛成討論

公明党 藤田 昇

平成二十二年度決算は、特に土地開発公社解散による影響が大きくあらわれた。そのような中で、歳入増加策として市税収入の収納体制の強化などを図り、歳出削減策としては市の施設への指定管理者導入などを行った。また、地域経済浮揚策として、国の交付金や県の補助金の活用による事業を実施し、着実に成果があらわれてきている。

三浦市では、三セク債を初めとした市債の償還が本格的に始まり、非常に厳しい財政状況にあるが、緊急の政策課題である災害に強いまちづくりや地域経済活性化による財政基盤の強化など、より効果的な施策の取り組みが求められている。市長を先頭に、職員の一層の努力と効率的な事業執行を期待したい。

## 本会議での議案等の審議結果

番号	件名	議決状況	
		議決状況	賛成多数
議案第32号	三浦市土地開発基金条例を廃止する条例	原案可決	賛成多数
議案第33号	平成22年度三浦市一般会計決算の認定について	原案認定	〃
議案第34号	平成22年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃	〃
議案第35号	平成22年度三浦市老人保健医療事業特別会計決算の認定について	〃	全会一致
議案第36号	平成22年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃	賛成多数
議案第37号	平成22年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃	全会一致
議案第38号	平成22年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について	〃	〃
議案第39号	平成22年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について	〃	〃
議案第40号	平成22年度三浦市病院事業会計決算の認定について	〃	〃
議案第41号	平成22年度三浦市水道事業会計決算の認定について	〃	〃
議案第42号	平成23年度三浦市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	賛成多数
議案第43号	平成23年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	全会一致
議案第44号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	〃
議案第45号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	〃	〃
意見書案第2号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書	原案可決	〃
意見書案第3号	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書	〃	〃
意見書案第4号	城ヶ島大橋の渡橋料無料化を求める意見書	〃	〃
意見書案第5号	少人数学級の実現及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	〃	〃
報告第10号	専決処分の報告について	報告	—
報告第11号	専決処分の報告について	〃	—
報告第12号	平成22年度三浦市定額資金運用基金運用状況報告書	〃	—
報告第13号	平成22年度三浦市市場事業特別会計継続費精算報告書	〃	—
報告第14号	平成22年度三浦市公共下水道事業特別会計継続費精算報告書	〃	—
報告第15号	平成22年度決算に基づく健全化判断比率について	〃	—
報告第16号	平成22年度決算に基づく資金不足比率について	〃	—
報告第17号	専決処分の報告について	〃	—

## 人事

定例会後に任期満了を迎える、教育委員会委員及び公平委員会委員の任命(選任)をするための議案が提出され、いずれも原案のとおり同意することに決しました。

教育委員会委員

寺本光一氏

公平委員会委員

池田勇氏



## 議会を傍聴しませんか

平成23年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
11月21日	月	招集告示
22日	火	議会運営委員会(日程・審査方法等決定)
28日	月	本会議(議案審議)
		総務経済常任委員会
29日	火	本会議(一般質問)
30日	水	本会議(一般質問)
12月1日	木	本会議(一般質問)
2日	金	総務経済常任委員会
5日	月	都市厚生常任委員会
7日	水	議会基本条例策定等特別委員会
9日	金	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ

電話 046-882-1111 内線462・463

※請願・陳情の提出期限は11月21日(月)です。

◎議会基本条例策定等特別委員会は、議会閉会中も随時開催をしています。11月の開催は、11月1日(火)午前10時~の予定です。(10月19日現在)

三浦市議会では、委員会審査も自由に傍聴することができます。閉会中の委員会開催日は、議会ホームページまたは議会事務局にお問い合わせの上、ご確認ください。